



学校だより 2月号

かさま

令和4年1月31日

No.489 横浜市立笠間小学校

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kasama/>

【学校教育目標】 かがやくひとみ さわやかえがお まごころいっぱい かさまの子

「幸せな学校づくり」

校長 中里 純子

朝会で、子どもたちにクイズを出しました。「笠間小の中庭が変わりました。さて、どこが変わったのでしょうか。分かった人は、休み時間に是非、伝えに来てください。」休み時間に、6年生の2人に呼び止められました。「校長先生、答えが分かりました。」「答えは何でしょう?」「ベンチです。ベンチの色がオレンジ色になりました。」「大正解!でももう一つあります。」「竹馬を置いている棚が黄色になってる。」(本校技術員が錆びていた棚をペンキで塗り変えてくれました)「お見事!わざわざ来てくれて、クイズに答えてくれて、ありがとう。」2人はニコニコしながら戻っていきました。何気ないやり取りに何とも言えず、心が晴れやかになりました。その後も、何人かの児童が校長室まで、クイズの答えを伝えに来てくれました。

慶應義塾大学大学院教授で幸福学の第一人者である前野隆司さんの講演で「幸せの4つの因子」というのを知りました。4つの因子とは、

- やってみよう因子・・・夢や強みをもち主体的に関わり自己実現と成長につなげる
- ありがとう因子・・・人とのつながりをもち感謝し、人に親切にする
- 何とかなる因子・・・前向きにチャレンジし、楽観的に考えくよくよしない
- ありのまま因子・・・ほかの人と比べずに、自分らしく

上記のやり取りの中にも、小さくても確かな幸せが隠れています。自ら人とのつながりを求め、関わっていく。ありがたいと感じたことを伝えていく。・・・

「ありがとう因子」にかかわる幸せでしょうか。



前野さんの言葉でもう一つ心に残ったのは、「幸せはうつる」というものです。教職員が元気で幸せそうにしていたら、その近くにいる子どもも幸せな気持ちになる。子どもが幸せなら保護者や地域の方も幸せを感じる。そして、みんなが幸せに・・・。小さな幸せを積み重ねながら、そんな幸せな学校をつくっていかねばと思っています。

学校では今、今年度の反省と次年度に向けての計画を立てているところです。横浜市教育委員会からは、昨年末に、令和の時代における「質の高い学び」と「持続可能な学校」の実現に向けた考え方についての通知が出され、限られた時間の中で質の高い学びを実現しながら児童や教職員にとっても持続可能な学校を実現していくこと、教職員の業務の中で裁量のある時間を生み出すことを意識したマネジメントを行うことなどが求められています。本校においても、この通知に沿い、日課表やカリキュラムの見直しを図って参ります。ご理解とご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。